

# メダカのたんじょう

名前 ( )

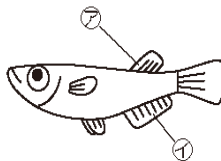
教科書 p 32 ~ を使って学習しましょう。

めすが産んだたまご (卵) が、おすが出す精子と結びつくと、たまごは育ち始めます。このように、たまごと精子が結びつくことを ( 受精 ) といい、( 受精 ) した卵を ( 受精卵 ) といいます。

(1) ㊦, ㊧のひれをそれぞれ  
何ひれといいますか。

㊦ ( せびれ )

㊧ ( しりびれ )



① ( ○ )



② ( )

(2) めすのメダカは①, ②のどちらですか。 ( ) に○をつけましょう。

(3) めすはおすと比べて、ひれのどこがちがっていますか。2つかきましょう。

( せびれに切れこみがない。 )

( しりびれの後ろが短い。 )

メダカの飼い方や産卵のようすについて、次の問いに答えましょう。

(1) メダカの飼い方について、次の文の ( ) に合うものを選び、 で囲みましょう。

① 水そうは、( 日光が直接当たる ・  日光が直接当たらない )  
明るい場所に置く。

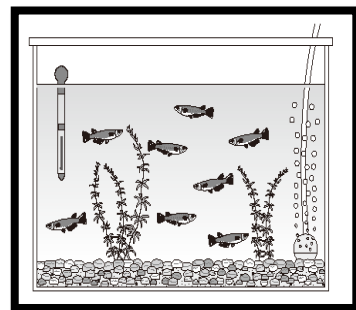
① 水そうの底には ( ねん土 ・  小石やすな ) を入れる。

② 水そうには ( 水道の水 ・  くみ置きの水 ) を入れる。

④ えさは食べ残さない量を (  毎日1~2回くらい ・ 1週間に1回くらい ) あたえる。

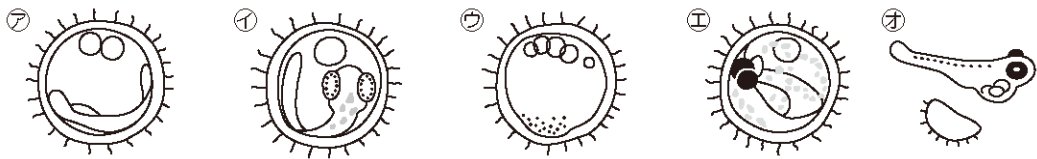
(2) たまごは受精して受精卵になり、育っていきます。受精とはどういうことをいいますか。

( たまごと精子が結びつくこと )



教科書 p 36～38 を使って学習しましょう。

下の図は、メダカの受精卵が育つようすを観察し、スケッチしたものです。次の問いに答えましょう。



(1) 受精卵が育つ順に、( ) に図の㉞～㊲の記号をかきましょう。  
(  ㉞ ) → (  ㉟ ) → (  ㊱ ) → (  ㊲ ) → ㊳

(2) 次の文は、上の㉞～㊲のどのようすを説明したものですか。当てはまるものを選び、( ) に記号をかきましょう。

①心ぞうがぴくぴく動き、赤い血が流れているのがわかる。  
(  ㊲ )

②何となくメダカの形をしたものが見える。(  ㉟ )

③たまごの中にふくらんだ部分ができている。メダカのすがたは見られない。(  ㉞ )

③目の部分が黒くなってきている。全体にメダカの体の形がはっきりしてきた。  
(  ㊲ )

(3) たまごからかえった子メダカは、2～3日は何も食べません。それは、なぜですか。

(  〈例〉はらの中の養分を使って育っているから。 )

メダカは、たまごの中でようすがだんだんと変化して、受精して(約 **2週間** )で子メダカがたんじょうする。

子メダカがやがて大きくなって、親になり、次の世代へと生命が受けつがれていく。